

第6回人文・社会科学系研究推進フォーラム

## 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ (SSI)の 取り組みと特徴

2020年10月3日

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ長  
堂目 卓生



## SSIの理念

2

### 命を大切にし、一人一人が輝く社会

#### まもる：

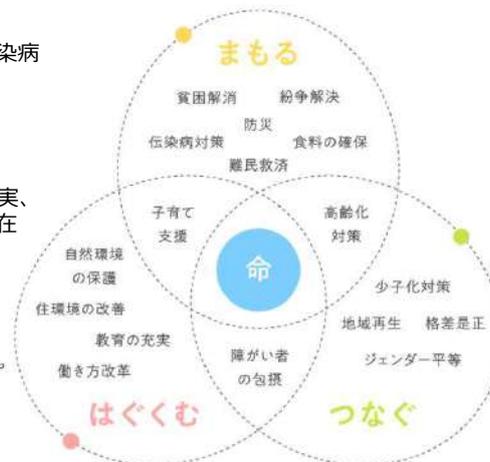
災害、戦争・紛争、犯罪、飢餓、貧困、伝染病などの脅威から、かけがえのない命を守る

#### はぐくむ：

自然環境の保護、住環境の改善、教育の充実、働き方の改善などを通じて、一人一人が潜在的に持っている能力を見出し、伸ばす

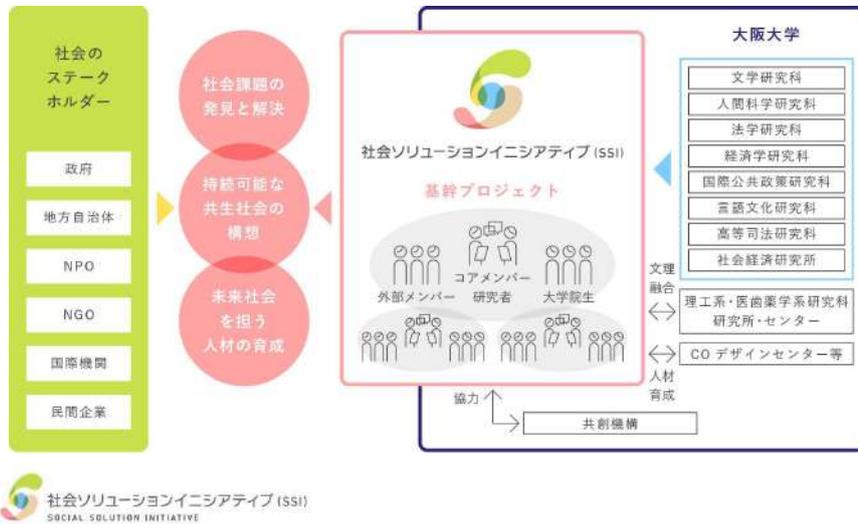
#### つなぐ：

共感によって人と人との絆を深め、拡げる。過去、現在、未来へと命をつなぐ



# SSIの特徴

2050年を視野に諸課題の解決策を提案するシンクタンク  
 大阪大学の人文社会科学系研究者を中心に2018年1月に設置



社会ソリューションイニシアティブ (SSI)  
 SOCIAL SOLUTION INITIATIVE

# SSIのアプローチ（取組方法）

- (Step 1) 学内外の人々が集い、社会課題を発見・整理する
- (Step 2) 発見・整理された課題ごとにプロジェクトを形成
- (Step 3) 未来にむけて新たな社会・経済システムを提案



社会ソリューションイニシアティブ (SSI)  
 SOCIAL SOLUTION INITIATIVE

## SSIサロン (Step 1)

5

- 第1回「生と死と、命と - 超高齢社会の多様性」 (2018/6/25)
- 第2回「科学技術と地域資源のコラボレーション - 支え合いの仕組みを考える」 (2018/7/18)
- 第3回「国家とは、人間とは - 紛争解決は何をめざすのか」 (2018/9/20)
- 第4回「科学技術と人間 - 未来社会に向けた文理融合のあり方」 (2018/11/1)
- 第5回「SDGsとどう向き合うか - 30年後の社会を見据えて」 (2019/1/15)
- 第6回「社会の鏡 - こどもが与えてくれるもの」 (2019/5/23)
- 第7回「『障がい』はどこにあるのか - ジャン・バニエの思想と実践」 (2019/7/25)
- 第8回「センス・オブ・ワンダーと社会 - 研究はどこから生まれどこへ向かうのか」 (2019/9/26)
- 第9回「アフリカ - 未来社会」 (2019/11/21)
- 第10回「人と人とをつなぐ人 - いかにはてはぐむか」 (2020/1/30)
- 第11回「命と生活 - コロナ禍を越えて」 (2020/7/20)



## 車座の会、学生のつどい、研究者フォーラム (Step 1)

6

### 「SSI車座の会」(企業者等のつどい)

あるべき30年後の経済社会を求めて企業やNPOの方のつどい場。SSIの理念に共感し、自分の組織、自分の業界、そして社会を変革する意欲のある23組織が参加、過去4回開催。

### 「学生のつどい」

SSIの理念や活動に関心のある学生たちが自発的につどい、学問領域を超えて社会課題と未来を楽しく深く対話する場。過去2回開催。

### 「研究者フォーラム」

学内を中心とした研究者が、社会が持つ可能性をより豊かに描き出し、未来社会を構想するために、分野を超えて視点を交換し、自由に対話する場。2020年9月7日に開催。

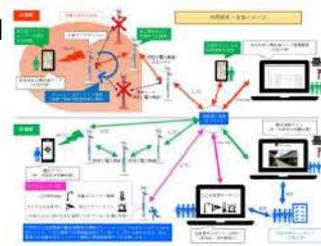


## 各種プロジェクト (Step 2)

7

### ○基幹プロジェクト

- 「地域資源とITによる減災・見守りシステムの構築」
- 「教育の効果測定研究」
- 「共生対話の構築」
- 「SDGs指標の改善を通じた環境サステナビリティの促進」
- 「一人ひとりの死生観と健康自律を支える超高齢社会の創生」
- 「健康・医療のための行動科学によるシステム構築」
- 「アフリカの非正規市街地をフィールドとした持続型都市社会モデルの構築」
- 「社会課題を解決するためのコミュニケーション能力の開発」



### ○協カプロジェクト

- 「東南アジアと日本における持続的な食料生産と消費の構築」
- 「大学と地域の生物多様性保全の実現」
- 「多文化共生のまちづくりにおける学びのデザイン化拠点の創出」



## プロジェクトの取組例 (Step 2)

8

- 基幹プロジェクト「健康・医療のための行動科学によるシステム構築」キックオフ・シンポジウム「医療現場の行動経済学～すれ違う医者と患者～」を開催 (2018/8/4)

- 基幹プロジェクト「アフリカの非正規市街地をフィールドとした持続型都市社会モデルの構築」キックオフシンポジウム「アフリカの『いのち』に寄り添い、学び、共に生きること」を開催 (2019/10/11)

- 一般社団法人地域情報共創センターが主催するシンポジウム「たすかんねん」ほんまや!～地域資源と科学技術で安心安全社会の共創をめざして」を共催 (2019/12/16)

- 基幹プロジェクト「健康・医療のための行動科学によるシステム構築」With & Afterコロナにおける健康心理学視点での働き方研究会主催 (2020/7/22～隔月全3回)
  - 第1回：コロナウイルス感染症の心理的影響とストレスマネジメント
  - 第2回：ニューロダイバーシティに基づく新しい働き方について
  - 第3回：メンタルヘルス不調予防のためのナッジ構築



# シンポジウム 2019/3&2020/9 (Step 3)



2019.3.19 Tue.  
 豊慶中キャンパス 大塚大学  
 開催時間 13:00-17:00  
 参加費 無料  
 申込 不要  
 主催 社会ソリューションイニシアティブ (SSI)  
 協賛 大塚大学

**第1回 SSIシンポジウム**

開催地 豊慶中キャンパス 大塚大学  
 テーマ 『命を大切に、一人一人が輝く社会を創る』  
 『SDGsの理念と未来』

**パネリスト**

大塚大学 学長 大塚 隆夫  
 大塚大学 副学長 大塚 隆夫  
 大塚大学 教授 大塚 隆夫  
 大塚大学 教授 大塚 隆夫  
 大塚大学 教授 大塚 隆夫



2020.9.23  
 豊慶中キャンパス 大塚大学  
 開催時間 13:00-17:00  
 参加費 無料  
 申込 不要  
 主催 社会ソリューションイニシアティブ (SSI)  
 協賛 大塚大学

**第2回 SSIシンポジウム**

開催地 豊慶中キャンパス 大塚大学  
 テーマ 『命を大切に、一人一人が輝く社会を創る』  
 『SDGsの理念と未来』

**パネリスト**

大塚大学 学長 大塚 隆夫  
 大塚大学 副学長 大塚 隆夫  
 大塚大学 教授 大塚 隆夫  
 大塚大学 教授 大塚 隆夫  
 大塚大学 教授 大塚 隆夫

# SDGsに対するSSIの基本方針 (Step 3)

2030年をターゲットに「誰一人取り残さない」を目指すSDGsを  
 2050年に「命を大切にし、一人一人が輝く社会」にいたるための道標とする

17のゴールを、命を「まもる」「はぐくむ」「つなぐ」に結びつけ、何のためのゴールなのか、達成の先にどのような社会を構築するのかを考える



## 基幹プロジェクトとSDGs目標 (Step 3)

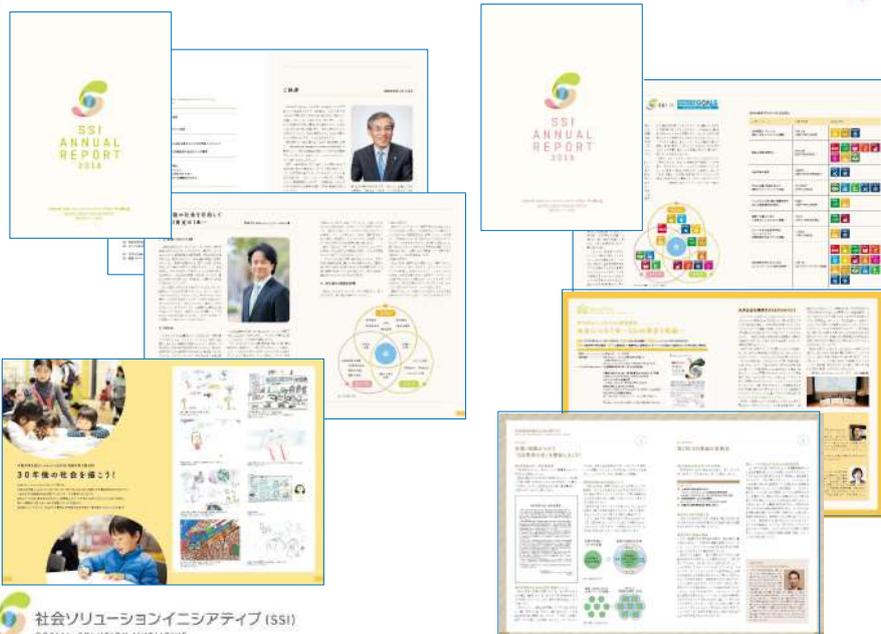
11

基幹プロジェクトについても、以下のように、それぞれをSDGs目標に関連づけています。

基幹プロジェクト	代表研究者	SDGs 目標
地域資源とITによる 減災・見守りシステムの構築	稲場 圭信 人間科学研究科教授	1, 3, 5, 11
教育の効果測定	大竹 文雄 経済学研究科教授	4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
共生対話の構築	松野 明久 国際公共政策研究科教授	10, 11, 16, 17
SDGs 指標の改善を通じた 環境サステナビリティの促進	大久保 規子 法学研究科教授	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
一人ひとりの死生観と健康自律 を支える超高齢社会の創生	佐藤 眞一 人間科学研究科教授	3, 5, 10
健康・医療のための 行動科学によるシステム構築	平井 啓 人間科学研究科准教授	3, 5, 10
アフリカの非正規市街地を ワールドとした 持続型都市社会モデルの構築	木多 遼宏 工学研究科教授	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
社会課題を解決するための コミュニケーション能力の開発	山崎 吾郎 COデザインセンター等教授	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17

## アニュアル・レポート 2018&2019

12



# 今後の取組：新たな展開

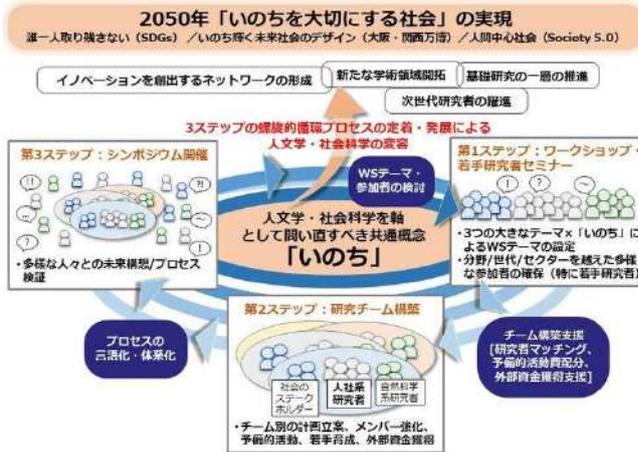
大阪大学は、  
文部科学省「人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト」  
に採択されました。

この事業は、

現状において解決策が探究されていない、あるいは未だ顕在化していない社会的課題を見据えて、

未来社会の構想のために、

我が国の人文学・社会科学の知がどのように貢献でき、何をなし得るかを考察するプロセスの体系化を目指します。



# SSIが拓く未来への道

